

日本工業標準調査会 標準部会 第22回 窯業技術専門委員会議事要旨

1. 日時 : 平成19年8月8日(水) 14:00~17:30

2. 場所 : 経済産業省 別館5階513共用会議室

3. 出席者: 9名

植松委員長(長岡技術科学大学)、安藤委員(黒崎播磨㈱)、鶴澤委員(硝子繊維協会)、荻原委員(鹿島建設㈱)、片山委員(セントラル硝子㈱)、永田委員(東邦テナックス㈱)、福永委員((財)日本規格協会)、町田委員(㈱日立製作所)、山内委員((独)産業技術総合研究所)

欠席者: 2名 小澤委員(JFEスチール㈱)、阪井委員(日本ガイシ㈱)

関係者: 9名

R1704: 山岡(宇部興産)、駒木((社)日本ファインセラミックス協会)
R1680: 入谷(名古屋大学)、駒木((社)日本ファインセラミックス協会)
R1681: 松村(電気通信大学)、駒木((社)日本ファインセラミックス協会)
R1682: 柴田((財)ファインセラミックスセンター)、駒木((社)日本ファインセラミックス協会)
R1683: 同上
R2206-1: 朝倉(岡山セラミックス)、小林(耐火物技術協会)
R2206-2: 同上
R2207-1: 同上
R2207-2: 同上
R2207-3: 同上
R2015: 同上
R7609: 池崎(炭素繊維協会)、松永(日本プラスチック工業連盟)

事務局: 3名

江口、畠山、森野(経済産業省 産業基盤標準化推進室)

4. 議題

- (1) 前回(第21回 H19. 4. 12)議事録の確認.....資料 1
- (2) 日本工業規格案(制定)の審議
- ① R1704 ファインセラミックス・活性酸素生成能力測定による光触媒材料の水質浄化性能試験資料 2
 - ② R1680 ファインセラミックス多孔体の液中粒子捕捉性能試験方法.....資料 3
 - ③ R1681 ファインセラミックス多孔体の球圧子押し込み試験方法資料 4
 - ④ R1682 ファインセラミックスの高電界における電界誘起ひずみの試験方法.....資料 5
 - ⑤ R1683 原子間力顕微鏡によるファインセラミックス薄膜の表面粗さ試験方法...資料 6
 - ⑥ R2206-1 耐火れんがの圧縮強さの試験方法-第1部:パッキングを用いない方法...資料 7
 - ⑦ R2206-2 耐火れんがの圧縮強さの試験方法-第2部:パッキングを用いる方法.....資料 8
 - ⑧ R2207-1 耐火物の熱膨張の試験方法-第1部:非接触法資料 9
 - ⑨ R2207-2 耐火物の熱膨張の試験方法-第2部:円筒試験片の接触法.....資料 10
 - ⑩ R2207-3 耐火物の熱膨張の試験方法-第3部:棒状試験片の接触法.....資料 11
 - ⑪ R2015 耐火物用炭化ほう素原料の化学分析方法資料 12
 - ⑫ R7609 炭素繊維-体積抵抗率の求め方資料 13
- (3) 日本工業規格案(廃止)の審議
- ① R2206 耐火れんがの圧縮強さの試験方法資料 14
 - ② R2207 耐火れんがの熱間線膨張率の試験方法資料 15
 - ③ R2555 キャスタブル耐火物の熱間線膨張率の試験方法資料 16
 - ④ R2577 高アルシ質及び粘土質プラスチック耐火物の熱間線膨張率の試験方法資料 17
 - ⑤ R2617 耐火断熱れんがの熱間線膨張収縮率試験方法資料 18
 - ⑥ R7601 炭素繊維試験方法資料 19

5. 議事

(1) 前回議事録の確認

資料1に基づいて事務局から前回議事録の説明を行い、確認された。

(2) 日本工業規格案(制定)の審議

① R1704 ファインセラミックス・活性酸素生成能力測定による

光触媒材料の水質浄化性能試験

資料2に基づいて関係者から説明があり、下記を行うことで承認された。

- ①-1 4.1.c) (ブラックライトブルー蛍光ランプ)の規定を、R1703-1などと同様に、351nmに限定せずに、注記で351nmを推奨する。
- ①-2 4.4(試験の方法)のe)の注2)で、「測定精度が確保されれば・・・」とあるが、精度が確保された状態を具体的に「0.1 mg/Lまでの測定精度が確保されれば・・・」と表す。
- ①-3 7(DMSO半減時間の計算)で使用する近似直線の近似方法を具体的に、「・・・最小二乗法により原点を通る直線を求め・・・」と規定する。
- ①-4 8(試験結果の報告)に、採用した試験方法を報告するように規定する。
- ①-5 9(試験測定例)図3の近似直線を原点を通るように修正する。

② R1680 ファインセラミックス多孔体の液中粒子捕捉性能試験方法

資料3に基づいて関係者から説明があり、1(適用範囲)を詳細に記載することで承認された。

③ R1681 ファインセラミックス多孔体の球圧子押込み試験方法

資料4に基づいて関係者から説明があり、1(適用範囲)を詳細に記載することで承認された。

④ R1682 ファインセラミックスの高電界における電界誘起ひずみの試験方法

資料5に基づいて関係者から説明があり、下記を行うことで承認された。

- ④-1 7.1(装置の構成)の図1において、可動接触子の表記を追加し、図中の可動接触子と試料を接触させる。
- ④-2 7.2 f) (試料ホルダの設置雰囲気)で、非接触式の変位センサを用いる場合には、可動接触子の試料に接する側と反対側の端面が油に浸らないように留意する規定文を追加する。

⑤ R1683 原子間力顕微鏡によるファインセラミックス薄膜の表面粗さ試験方法

資料6に基づいて関係者から説明があり、承認された。

⑥ R2206-1 耐火れんがの圧縮強さの試験方法—第1部：パッキングを用いない方法

資料7に基づいて関係者から説明があり、下記を行うことで承認された。

- ⑥-1 5.4(直角定規)、5.5(すき(隙)間ゲージ)に引用規格を追加し、附属書JAの対比表にもその旨を追記する。
- ⑥-2 9(試験報告)に、試験片の欠陥についての報告事項を追加する。
- ⑥-3 9(試験報告)f)の「各供試試料数から・・・」を「各供試試料から・・・」に修正する。

⑦ R2206-2 耐火れんがの圧縮強さの試験方法—第2部：パッキングを用いる方法

資料8に基づいて関係者から説明があり、下記を行うことで承認された。

- ⑦-1 6.4(直角定規)、6.5(すき(隙)間ゲージ)に引用規格を追加し、附属書JAの対比表にもその旨を追記する。
- ⑦-2 10(試験報告)に、試験片の欠陥についての報告事項を追加する。
- ⑦-3 10(試験報告)f)の「各供試試料数から・・・」を「各供試試料から・・・」に修正する。

⑧ R2207-1 耐火物の熱膨張の試験方法—第1部：非接触法

資料9に基づいて関係者から説明があり、下記を行うことで承認された。

- ⑧-1 1(適用範囲)の表1で、「大きな粒を含む耐火物」における「第3部：棒状試験片を用いる接

触法」の適用度を、×から△へ変更する。

- ⑧-2 6.2.1 (定形耐火物) の「・・供試試料の加圧方向に・・」を「・・供試試料の成形時の加圧方向に・・」に修正する。
- ⑨ R2207-2 耐火物の熱膨張の試験方法—第2部：円筒試験片の接触法
資料10に基づいて関係者から説明があり、下記を行うことで承認された。
- ⑨-1 1 (適用範囲) の表1で、「大きな粒を含む耐火物」における「第3部：棒状試験片を用いる接触法」の適用度を、×から△へ変更する。
- ⑨-2 5.6 (直角定規)、5.7 (すき(隙)間ゲージ) に引用規格を追加する。
- ⑧-3 6.2.1 (定形耐火物) の「・・供試試料の加圧方向に・・」を「・・供試試料の成形時の加圧方向に・・」に修正する。
- ⑨-4 7.1 (試験片の測定) のb)で、1行目の「接触圧」を「接触荷重」へ、4行目の「荷重」を「圧縮応力」へ修正する。
- ⑩ R2207-3 耐火物の熱膨張の試験方法—第3部：棒状試験片の接触法
資料11に基づいて関係者から説明があり、下記を行うことで承認された。
- ⑩-1 1 (適用範囲) の表1で、「大きな粒を含む耐火物」における「第3部：棒状試験片を用いる接触法」の適用度を、×から△へ変更する。
- ⑩-2 6.2.1 (定形耐火物) の「・・供試試料の加圧方向に・・」を「・・供試試料の成形時の加圧方向に・・」に修正する。
- ⑪ R2015 耐火物用炭化ほう素原料の化学分析方法
資料12に基づいて関係者から説明があり、8.5 (試験報告) に分析結果を報告事項に追加し、d)の「試料に関する情報」を具体的に表すことで承認された。
- ⑫ R7609 炭素繊維—体積抵抗率の求め方
資料13に基づいて関係者から説明があり、承認された。
- (3) 日本工業規格案(廃止)の審議
- ① R2206 耐火れんがの圧縮強さの試験方法
資料14に基づいて事務局から説明があり、承認された。
- ② R2207 耐火れんがの熱間線膨張率の試験方法
資料15に基づいて事務局から説明があり、承認された。
- ③ R2555 キャスタブル耐火物の熱間線膨張率の試験方法
資料16に基づいて事務局から説明があり、承認された。
- ④ R2577 高アルミ質及び粘土質プラスチック耐火物の熱間線膨張率の試験方法
資料17に基づいて事務局から説明があり、承認された。
- ⑤ R2617 耐火断熱れんがの熱間線膨張収縮率試験方法
資料18に基づいて事務局から説明があり、承認された。
- ⑥ R7601 炭素繊維試験方法
資料19に基づいて事務局から説明があり、承認された。